

DX時代を先取りする

DX 人員養成講座

2025

株式会社 TRY LINK

TABLE OF CONTENTS

00	TRY Link 会社概要
01	TRY Link の「D X 人員養成講座」
02	4つの研修コース
03	2つの研修スタイル
04	DX標準コース 詳細
05	DX実践コース 詳細
06	DX応用コース 詳細
07	DX開発コース 詳細
08	講師紹介（一部）
09	スケジュール
10	研修費用

00

TRY Link 会社概要

[会社概要]

- 社 名：株式会社 TRY Link
- 設 立：2007年 3月 2日
- 資本金：3000万円
- 代表者：堀 裕介

[オフィス]

- 東京都港区芝2-30-14
阿部ビル2F
- 愛知県名古屋市中区丸の内2-2-15
東照ビル1F
- 大阪府大阪市淀川区西中島7-12-5
日宝北2号館7

01

世の中が“ほっこり”する事業創造を行う会社

さまざまな社会課題に対して“ほっこり”するアイデアと事業創造で社内の役にたつことを目指しています。

02

コンサルティング×デザイン×システム開発

01の想いを実現するために、コンサルティング、デザインおよびシステム開発のプロフェッショナル集団として活動しています。

03

様々なプロフェッショナルを育てる研修を提供

- ・ 階層別) 新入社員向け研修、管理者向け研修
- ・ 職種別) 介護士養成講座、会計・経理人員養成講座
- ・ 内容別) コミュニケーション向上研修、
ストレスマネジメント研修、DX人材養成講座

01

TRY Link の「D X 人員養成講座」

ITが社会を大きく変える中、「D X 人員」が幅広く求められています

01

4つの研修コース

一般従業員を対象にしたD X（生成AIやクラウド活用）を活用した生産性向上・業務改善から、WEB制作技術者を対象にしたD Xソリューション（Wordpress制作と運用）まで、幅広い層が受けられるコースを用意しています。

02

2つの研修スタイル

参加者が集合しての集合講義形式およびEラーニング形式の2形態を用意しています。特に昨今注目されているEラーニング形式では、受講確認機能や受講後の習熟後確認テスト機能など、習得のフォローをする機能が豊富に備わっています。

03

専門講師とフォロー体制

当社では、様々な角度からD Xの研究を従来より進めており、内容に応じた専門技術・講師経験を有する講師が揃っています。また、研修をするだけでなく、習熟度の確認及び、受講後のサポートも提供しており、確実な技術習得を支援します。

02

5つの研修コース

コース①

DX標準

社内で業務改善・生産性向上を担う社員が、DX（生成AI、クラウド、RPA）に関する標準的な内容を学ぶコースです。

コース③

DX実践（調査・デザイン編）

DX標準・応用コースを学んだ推進者が、調査・デザイン業務に関するDX化の実践的な内容を学ぶコースです。

コース⑤

DX開発コース（技術者向け）

一定のITスキルを有するIT技術者が、生成AIとクラウド連携で実現するセキュアで効率化されたDXソリューションを学ぶコースです。

コース②

DX応用

DX人員 標準コースを学んだDX推進者が、DX（生成AI、クラウド、RPA）に関する応用的な内容を学ぶコースです。

コース④

DX実践（マーケティング・業務改善編）

DX標準・応用コースを学んだ推進者が、マーケティング・業務改善業務に関するDX化の実践的な内容を学ぶコースです。

03

2つの研修スタイル

研修は、講義形式・Eラーニング形式の2つから選べます。

A. 講義形式

[研修場所]

お客様会議室、もしくは貸会議室

[対象]

全コースに対応。

受講者が同時に集まることができる場合に推奨。

B. Eラーニング形式

[プラットフォーム]

パソコンによるオンライン研修

[インタラクティブ機能]

研修受講確認機能、テスト機能

[対象]

標準コース・応用コースに対応。

拠点が分かれている場合、シフト制で同時受講が難しい場合などに推奨。

03

2つの研修スタイル

Eラーニング形式においては、LMSでの進捗管理が可能となります。

- 学習時間は1秒単位で把握
- 再生時間を正確に把握し、飛ばし見は未受講と判定
- 受講者ごと、コースごと、組織ごとに 総学習時間など必要となる情報の出力や分析が可能となっています。

個人受講履歴（コース）

検索

履歴出力

ユーザID:

受講者名:

職位:

所属組織:

コースコード:

コース名: 1、生産性向上とDX概論

コース種類: eラーニング

申込・学習ステータス: 受講完了

進捗率
100%

総学習時間
00 時間 00 分 01 秒

最終学習日時
2024-10-31 15:54:27

表示件数: 20件

項目表示

1 - 1 / 全 1件

1

NO.	カードコード	カード名	カード種類	公開ステータス	開催日	学習者ステータス	進捗率	学習時間	最終学習日時
1	IM241031152408738	生産性向上とDX概論_はじめに	スライド	公開		完了	100 %	0:00:01	2024-10-31 15:54:27

学習内容別に詳細情報を把握

1 - 1 / 全 1件

1

04

DX標準コース 概要

[概要]

- 全8講から構成
1講は90分の研修
- 社内で業務改善・生産性向上を担う社員が、DX（生成AI、クラウド、RPA）に関する標準的な内容を学ぶコース
- 講義形式、Eラーニング形式の両方に対応

01 幅広いDXを“実践的”に学べる

DX時代においてベースとなる3要素、クラウド・生成AI・RPAについてただ技術を覚えるのではなく、業務改善や生産性向上にどのように繋げるか、という“実践的”な内容となっています。

02 研修で終わらせない2種類のフォローアップ

研修後の理解度確認テスト、および講師へのオンライン質問と2つのフォローアップで研修で終わらせません。

03 Eラーニングに対応

拠点をまたがっての受講が用意なEラーニングに対応。
出欠確認、レポート提出管理、アンケート機能もあります。

04

DX標準コース / カリキュラム 例

第1講 生産性向上とDX概論

- ・ DXとは
- ・ 生産性向上の考え方
- ・ DXの活用と注意点

第2講 生成AIにおけるプロンプト研修

- ・ 生成AIの基礎
- ・ ChatGPTによるテキスト生成術
- ・ 応用編：データ分析術、議事録作成

第3講 生産性向上に向けたクラウドの活用1

- ・ クラウドの利点
- ・ スプレッドシートの活用方法 1
- ・ スプレッドシートの共同編集 1

第4講 生産性向上に向けたクラウドの活用2

- ・ クラウドの利点
- ・ スプレッドシートの活用方法 2
- ・ スプレッドシートの共同編集 2

第5講 DXによる業務フロー改善1

- ・ DXによる業務フロー改善1
- ・ 業務分解と優先順位
- ・ 生成AIによる業務分解と生産性向上

第6講 DXによる業務フロー改善2

- ・ DXによる業務フロー改善2
- ・ スケジューリングとガントチャート
- ・ クラウドによるガントチャートの作成と共有

第7講 DXによる標準化1（クラウドの活用）

- ・ DXによる標準化の必要性
- ・ チェックリストとマニュアル
- ・ クラウドを活用した作成と共同編集

第8講 DXによる標準化2（生成AIとRPAの活用）

- ・ DXによる標準化の必要性
- ・ 生成AIを活用した作成
- ・ RPAを活用した標準化の基礎

05

DX応用コース / 概要

[概要]

- 全8講から構成
1講は90分の研修
- 標準コース受講生が対象
- 社内で業務改善・生産性向上を担う社員が、DX（生成AI、クラウド、RPA）に関して応用的な内容を学ぶコース
- 講義形式、Eラーニング形式の両方に対応

01 **DXの応用を“役割に合わせて”に学べる**

DX時代においてベースとなる3要素、クラウド・生成AI・RPAについて、管理者／推進者という役割に合わせてどのように活用していくか、とより”実践的“に学ぶ内容となっています。

02 **研修で終わらせない2種類のフォローアップ**

研修後の理解度確認テスト、および講師へのオンライン質問と2つのフォローアップで研修で終わらせません。

03 **Eラーニングに対応**

拠点をまたがっての受講が用意なEラーニングに対応。
出欠確認、レポート提出管理、アンケート機能もあります。

DXの現場での活用

第1講

- ・現場で扱うDX
- ・現場で扱う生成AI
- ・現場で扱うクラウド

DXによる資料作成1（生成AIの活用）

第2講

- ・DX時代のデザインの重要性
- ・資料におけるデザイン力
- ・生成AIを使う資料作成 資料骨子・画像作成

DXによる資料作成2（クラウドの活用）

第3講

- ・DX時代のデザイン設計
- ・DXにおけるデザイン・ツール
- ・Canvaを使う資料作成とクラウド共有

DXの現場での活用 実践1

第4講

- ・現場での生成AI・クラウド実践1
- ・集計表の作成と共同編集
- ・生成AIを活用した数値分析

DXの現場での活用 実践2

第5講

- ・現場での生成AI・クラウド実践2
- ・集計表の作成と共同編集
- ・生成AIを活用した数値分析

DXによる業務フロー改善 応用編

第6講

- ・DXによる業務フロー改善 応用
- ・習慣化の技術
- ・DXによる業務フローの改善と習慣化

DXによる標準化 応用編

第7講

- ・DXによる標準化 応用
- ・習慣化の技術
- ・クラウドや生成AIによる標準化の応用

DXによる生産性向上 と セキュリティ

第8講

- ・DXによる生産性向上まとめ
- ・DX時代のセキュリティ対策
- ・DXの今後

06

DX実践コース／概要

[概要]

- 全8講から構成
1講は90分の研修
- 原則として、標準・応用コース
受講生が対象
- 会社の日々の業務に欠かせない
日々の業務についてのDX化をより”実践的“に学ぶコース
- 講義形式、Eラーニング形式の両
方に対応

01 日々の各種業務のDX化をより実践的に学べる

日々の業務における調査・デザイン等、マーケティング・業務改善等についてそれぞれのDX化を実践的に学ぶコースです。

02 研修で終わらせない2種類のフォローアップ

研修後の理解度確認テスト、および講師へのオンライン質問と2つのフォローアップで研修で終わらせません。

03 Eラーニングに対応

拠点をまたがっての受講が用意なEラーニングに対応。
出欠確認、レポート提出管理、アンケート機能もあります。

06

DX実践コース／カリキュラム例（調査・アウトプット編）

第1講

DXにおけるAIの活用

- ・DXにおけるAIの活用
- ・代表的なAIモデルの説明
- ・DXにおけるAIの使い分け

第2講

調査業務のDX推進

- ・調査業務におけるDX推進
- ・調査業務に適したAIの活用
- ・AI Primotの活用

第3講

AIエージェントの活用

- ・DXにおけるAIエージェント
- ・AIエージェントの活用実践
- ・アウトプット品質の高め方

第4講

DX実践：FAQ作成

- ・DX推進におけるNotebookLM
- ・FAQ作成業務のDX
- ・NotebookLMとスプレッドシート

第5講

DX実践：社内マニュアル作成

- ・社内マニュアル作成のDX
- ・社内マニュアル作成に適したAI
- ・社内マニュアルのボット作成

第6講

DX実践：デザイン01

- ・デザイン業務におけるDX推進01
- ・AIを活用した画像生成
- ・AIを活用した画像修正

第7講

DX実践：デザイン02

- ・デザイン業務におけるDX推進02
- ・AIを活用したレイアウト
- ・AIを活用した案内資料作成

第8講

DX実践：提案書作成

- ・提案書作成業務のDX
- ・AIを活用した提案書作成
- ・提案書作成に合うAIエージェント

第1講

DX実践：企画書作成

- ・DXにおけるAIの活用
- ・代表的なAIモデルの説明
- ・DXにおけるAIの使い分け

第2講

DX実践：マーケティング01

- ・調査業務におけるDX推進
- ・調査業務に適したAIの活用
- ・AI Primotの活用

第3講

DX実践：マーケティング02

- ・DXにおけるAIエージェント
- ・AIエージェントの活用実践
- ・アウトプット品質の高め方

第4講

DX実践：マーケティング03

- ・DX推進におけるNotebookLM
- ・FAQ作成業務のDX
- ・NotebookLMとスプレッドシート

第5講

DX実践：戦略立案01

- ・戦略立案のDX01
- ・AIを活用した現状分析
- ・AIを活用した未来予測

第6講

DX実践：戦略立案02

- ・戦略立案のDX02
- ・AIを活用した戦略立案
- ・AIを活用した戦略展開

第7講

DX実践：業務改善01

- ・業務改善のDX01
- ・AIを活用した
- ・AIを活用したチェックリスト

第8講

DX実践：業務改善02

- ・業務改善のDX02
- ・AIを活用した実行度確認
- ・AIを活用したPDCA推進

07

DX開発コース / 概要

[概要]

- 全11講から構成。
1講は60～90分の研修
- Web制作会社のデザイナー・フロントエンドエンジニアを対象に、WordPressの基本操作から始まり、Gitを使ったバージョン管理やクラウドとの連携、自動デプロイを学ぶコース
- 現状、講義形式のみに対応

01 Web制作における飛躍的な生産性向上を実現

従来のFTP手動作業を、効率的で安全なバージョン管理とAIを活用したコード生成・自動化によって大幅に効率化します。

02 研修で終わらせない2種類のフォローアップ

研修後の理解度確認テスト、および講師へのオンライン質問と2つのフォローアップで研修で終わらせません。

03 講義形式で細かい指導

現状は講義形式のみとなります。ITに関する経験、および講師経験豊富な講師による細かい指導を行います。

ローカル開発環境構築

第1講

- ・ MAMPを使ったWordPressローカル環境構築
- ・ MAMPの準備からWordPressの初期設定まで

WordPressの基本

第2講

- ・ WordPressの仕組みと基本操作
- ・ テーマとプラグイン、投稿・ページ作成

Gitの基本

第3講

- ・ Gitのバージョン管理の重要性
- ・ 4つの基本コマンド

AIエディターの使い方

第4講

- ・ AIを活用したHTML、CSS、PHPの自動生成
- ・ AIによるコード自動作成のデモ

Wordpressの応用とバージョン管理

第5講

- ・ WordPressテーマのカスタマイズ
- ・ オリジナルテンプレート作成とGitでの管理

AIプログラミングの基本

第6講

- ・ AIを活用したプラグインやテーマの開発
- ・ 実際のプロジェクトでのAIの応用例

GitHubの基本

第7講

- ・ GitHubリポジトリの作成と連携
- ・ チームでの効率的な管理方法

Xserverの設定と運用

第8講

- ・ XserverでのWordPress簡単インストール
- ・ Xserverでの基本的な運用手順

SSH接続の基本

第9講

- ・ SSH接続の重要性 と Xserverへ接続設定
- ・ コマンドラインの基本操作

GitHubからXserverの連携

第10講

- ・ GitHubからXserverへのコードのプル手順
- ・ デプロイ前の準備

7GitHubの基本

第11講

- ・ CI/CDの基本
- ・ GitHub Actionsを使ったデプロイの自動化

08

講師紹介（一部）

当コースの講師陣は、DXに関わる開発もしくは活用経験が豊富であり、また企業等における様々な講師経験を有するプロフェッショナルとなっています。



株式会社TRY Link
エンジニア 兼 トレーナー
K. Tanemura

主な経歴

- 2012～ 職業訓練校 講師（JAVA、Android担当）
- 2014～ システム・ソフトウェア開発会社にて開発業務従事
- 2000～ 現職 株式会社TRY Linkにて開発業務従事
- 2020～ オンラインプログラミングスクール講師（PHP担当）
- 2023～ 経営者対象の勉強会 経営Labo会 講師（DX・AI担当）

専門分野

- WEBアプリケーション全般
- 生成AI研究

09

スケジュール

コミュニケーション研修実施までの準備ためのスケジュールは以下の通りです。

☑ STEP1

研修実施概要の決定

- ・ コース内容
- ・ 受講方法
- ・ 研修時期



☑ STEP2

参加者の選定と通知

- ・ 参加者の選定
- ・ 参加者への通知



☑ SEP3

研修実施とフォローアップ

- ・ 研修の実施
- ・ 理解度の確認（テスト）
- ・ フォローアップ

10

研修費用

研修費用は以下となります。
本研修費用には、会場費用を含みません。

DX標準コース	全720分	1人あたり	40万円	税込
DX応用コース	全720分	1人あたり	40万円	税込
DX実践コース 調査・アウトプット編	全720分	1人あたり	40万円	税込
DX実践コース マーケティング・業務改善編	全720分	1人あたり	40万円	税込
DX開発コース	全660分	1人あたり	40万円	税込